

貧困へのケイパビリティ・アプローチと社会的排除と相対的剥奪(貧困)の焦点比較表

焦点	ケイパビリティ・アプローチ	社会的排除	相対的剥奪
貧困とは： 経済財との関係	経済財を活用するライフチャンス、自由度の不足	経済財を得る事ができる社会関係の減少	経済財の配分の不足
依拠する情報	多次元（基本的ケイパビリティ）	多次元、主に社会関係性	多次元、主に生活物資の不足とその影響
時間性	現在から将来の可能性	過去から現在への経過	現在時点
求める生活イメージ	個人の人生の目的により多様	その社会の主流、中心にある生活	その社会の平均的な生活
社会政策の目的	個人のケイパビリティの拡大	社会的包摂を促す	生活財、所得の再配分
前提にある人間観	発達可能性ある人間	社会の主流にある市民	その社会の平均所得の市民
政策の社会的目標	個人の境遇による社会的制約の解消	社会関係の再構成	平均的市民生活の実現
政策のターゲット (対象)	個々人のライフチャンスの拡大	コミュニティへのインクルージョン	基本的な生活物資の平等な配分
個人と社会の関係	エンパワーメントされる個人を上位	インクルーシブな社会を上位	自立した個人とその活動する場としての社会 (社会と個人は未分化)
個人の心身の条件	個人のライフチャンスの制約条件	社会関係の制約条件	市場活動（労働、経済市場）の制約条件
豊かさとは	各人の望む生活機能が充実すること	その社会の主流であること	ディーセントな生活を実現すること
市場との関係	生活機能の拡大のための活動の場	雇用されるなど、包摂されるべき場	自立的な市民、個人が活動する場
貧者の心理過程	ケイパビリティの減少	無力感、コミュニケーション力の減退等	無力感、みじめ等